

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

海南市教育委員会

1 調査結果の公表にあたって

全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に実施しています。しかし、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の成果の一側面にすぎません。本市としましては、本調査の結果から得られた全国の状況等を参考にしながら、今後の教育施策を講じるための一つの指標と捉えるとともに、各学校における学習指導の充実・改善、児童生徒一人一人の学習状況の改善等につなげてまいります。

2 調査の実施状況

(1) 調査実施日 平成28年 4月19日(火)

(2) 調査の対象学年(本市での実施学校・児童生徒数)

- ・小学校第6学年(12校・386人)
- ・中学校第3学年(7校・399人)

(3) 調査の内容

① 教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・A問題:主として「知識」に関する問題
- ・B問題:主として「活用」に関する問題

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ・学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する内容

(4) その他

- ① 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数・数学の2教科のみであること、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要です。また、今回示した数値は調査結果のすべてを表すものではありません。
- ② 今後の指導に生かすため、市全体の結果から見たそれぞれの教科や質問紙の概要、今後の取組についてなどを併せて記載しています。

3 教科に関する調査の結果

【小学校】

(1) 平均正答率 ()内は全国比

	国語A	国語B	算数A	算数B
海南省	74.2 (+1.3)	61.7 (+3.9)	83.0 (+5.4)	50.8 (+3.6)
和歌山県 (公立)	70.0	56.2	77.2	45.7
全国 (公立)	72.9	57.8	77.6	47.2

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語A			国語B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	80.6	78.1	79.2	55.6	47.7	51.1
書くこと	77.2	69.1	72.8	57.6	52.4	53.4
読むこと	80.8	77.5	78.5	75.0	68.8	69.3
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.6	67.9	71.1	—	—	—

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

A問題では全15問中11問で、B問題では全10問中8問の設問で全国を上回っています。また、B問題の「読むこと」に関する問題では、全3問中2問で全国を5ポイント以上上回っています。

- 話や文章の内容を的確に押さえ、聞いたり読んだりすること
- 目的や意図に応じて、自分の考えを書くこと
- グラフを基に、分かったことを書くこと
- ローマ字で書いたり、ローマ字を読んだりすること

② 算数

i) 学習指導要領の領域別正答率

	算数A			算数B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
数と計算	87.8	82.0	80.5	48.2	43.0	44.4
量と測定	80.4	74.3	77.0	47.5	43.2	43.7
図形	84.5	77.9	78.8	37.9	35.6	36.3
数量関係	68.7	63.9	68.5	45.6	40.6	42.9

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

A問題では全16問中13問で、B問題では全13問中12問の設問で全国を上回っています。また、A問題全体では全国より約5ポイント高くなっています。

- 小数や分数の加減乗除の計算をすること
- 示された場面を読み取り、式に表すこと
- 全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解すること
- 図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断すること

【中学校】

(1) 平均正答率 () 内は全国比

	国語A	国語B	数学A	数学B
海南省	78.3 (+2.7)	71.0 (+4.5)	69.9 (+7.7)	51.4 (+7.3)
和歌山県 (公立)	73.5	62.8	62.2	42.9
全国 (公立)	75.6	66.5	62.2	44.1

(2) 各教科の概要

① 国語

i) 学習指導要領の領域別正答率

	国語A			国語B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
話すこと・聞くこと	81.2	77.4	78.9	—	—	—
書くこと	76.6	71.9	73.7	62.9	52.4	58.3
読むこと	82.0	76.3	78.6	71.0	62.8	66.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	76.5	71.5	73.9	—	—	—

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

A問題、B問題ともに学習指導要領の各領域全てで全国を上回っています。また、A問題では全33問中29問で、B問題では全9問中8問の設問で全国を上回っています。

- 文脈に即して漢字を正しく書いたり読んだりすること
- 本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
- 文章を読み返し、文の使い方などに注意して書くこと
- 課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること

② 数学

i) 学習指導要領の領域別正答率

	数学A			数学B		
	海南省	和歌山県	全国	海南省	和歌山県	全国
数と式	73.7	66.2	65.9	57.9	50.0	51.5
図形	74.5	67.4	67.1	42.1	32.9	33.3
関数	61.3	52.0	52.0	48.5	40.7	41.4
資料の活用	62.3	55.2	56.5	48.6	36.9	39.3

ii) 全国の正答率と比較して特徴のある内容

〈○：よい状況と考えられる内容 ●：課題があると考えられる内容〉

A問題、B問題とも全国より約7ポイント高く、学習指導要領の各領域全てで全国を上回っています。また、A問題では全36問中35問で、B問題では全15問中14問の設問で全国を上回っています。

- 加減乗除の計算や方程式等の計算ができること
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること
- 測定値が与えられた場面において、近似値と誤差の意味を理解すること
- グラフの傾きを事象に即して解釈すること

4 質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科の調査のほか、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査があります。この質問紙調査では、児童生徒の学校や家庭における学習状況や学校での学習の様子が分かります。

※ 表中の海南市の数字は、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合

※ 比較は、海南市と全国との割合の差（海南市－全国）を表す

(1) 基本的な生活習慣

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
朝食を毎日食べていますか	96.4	+0.9	94.8	+1.5
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか（テレビゲームをする時間は除く：2時間以上）	50.9	-6.2	44.1	-4.6
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（1時間以上）	57.2	+2.2	55.7	-1.4
普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く：1時間以上）	14.2	-4.3	41.8	-6.0

(2) 家庭での学習習慣【予習、復習等、家庭での学習に関する項目】

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか	55.3	+9.4	72.9	+11.9
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く：30分以上）	31.9	-4.6	27.3	-0.9
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	57.5	-4.7	41.8	-6.6
家で、学校の授業の復習をしていますか	57.2	+2.0	49.1	-1.9

(3) 学習の基盤、学力向上に向けた取組・指導方法

質問事項	小学校		中学校	
	海南市	比較	海南市	比較
読書は好きですか	69.5	-5.1	70.7	+0.8
新聞を読んでいますか（週に1回以上）	22.3	-1.7	17.1	-1.2
学校に行くのは楽しいと思いますか	91.7	+5.4	80.2	-1.2
学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか	60.1	+5.3	76.4	+13.6
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	69.0	+0.7	65.4	+0.6

(4) 地域との関わり・社会参加

質問事項	小学校		中学校	
	海南省	比較	海南省	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	64.8	-3.1	30.1	-15.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	74.1	+3.5	62.4	-3.4
地域社会などで、ボランティア活動に参加したことがありますか	19.7	-16.5	22.6	-26.1

(5) その他

質問事項		小学校		中学校	
		海南省	比較	海南省	比較
規範意識	学校のきまり(規則)を守っていますか	95.6	+4.1	96.3	+1.6
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.7	+0.1	93.2	-0.4
自尊心	自分には、よいところがあると思いますか	82.4	+6.1	64.4	-4.9
	将来の夢や目標を持っていますか	87.0	+1.7	65.9	-5.2
家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか		85.5	+6.3	69.4	-4.7
家の手伝いをしていますか		85.5	+2.7	59.4	-7.8

5 今後の取組について

平成28年度全国学力・学習状況調査における本市の各教科の状況については、これまでに引き続き、どの教科も全国平均・県平均を上回っており、概ね良好な結果であると捉えています。今後は、今回の結果から得られた課題について市全体で共有するとともに、各学校では、授業の一層の工夫や一人一人の実態に応じたきめ細かい指導をさらに進めていくことが大切であると考えています。

そのため、児童生徒の学びへの意識や意欲を高めながら、基礎的・基本的な内容の確実な定着はもとより、能動的・協同的に学び続ける力の育成をめざして取組を進めていく必要があります。また、校種間・学校間の連携の推進も重要な視点であると考えています。

なお、基本的な生活習慣の確立、規範意識の醸成、家庭学習のあり方、読書活動の推進、社会参加への意識高揚などについては、家庭や地域の御理解と御協力をいただきながら、一層充実させていくことが求められます。

教育委員会としましては、各学校の学力向上に向けた取組を支援するとともに、教育施策の充実を図り、子どもたちの可能性を広げる教育の推進に努めてまいります。

なお、各学校においても、自校の状況及びその分析結果、改善方策等を保護者等に説明することとしております。